

第3回 杉並区立桃井第二小学校校舎改築検討懇談会会議録（要旨）

会 議 名	第3回杉並区立桃井第二小学校校舎改築検討懇談会
日 時	平成27年6月22日（月）午後15時00分～午後17時00分
場 所	桃井第二小学校 ランチルーム
出 席 者	懇談会委員15名（欠席1名）
傍 聴 者	11名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 新委員・事務局挨拶 3 計画地の概要について 4 桃井第二小学校の改築について 5 改築基本方針たたき台について 6 今後のスケジュール 7 事務局からの連絡事項 8 閉会
資 料	<p>資料1 杉並区立桃井第二小学校校舎改築検討懇談会委員名簿及び事務局名簿</p> <p>資料2 計画地の概要</p> <p>資料3 桃井第二小学校の改築について</p> <p>資料4 桃井第二小学校校舎改築基本方針のたたき台</p> <p>資料5 桃井第二小学校校舎改築検討懇談会 開催予定</p> <p>資料6 平成27年度 学校要覧</p> <p>参考資料 杉並区洪水ハザードマップから</p> <p>参考資料 「あんさんぶる荻窪」と「荻窪税務署等用地」の財産交換について</p> <p>その他資料 第2回議事録</p>

座長	<p>本日は杉並区立桃井第二小学校校舎改築検討懇談会にご出席いただきまして、まことにありがとうございます。当初は4月22日に開催の予定でしたが、急遽の延期となってしまいました。</p> <p>およそ5カ月ぶりの開催となりますがどうぞよろしく願いいたします。</p> <p>本日の会は第1回目と同様に1時間30分ほどを見安に予定しております。進行に対するご協力のほどどうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、資料の確認を事務局からお願いします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>それでは、資料の確認をさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">（配布資料の確認）</p> <p>会を進めるに当たり、新しい委員の方もいらっしゃいますので、第1回目にはご注意ください点を再度申し上げます。</p>

	<p>会は原則公開となります。会議録も発言者名を伏せた形で公開しております。記録の際に録音と撮影をさせていただくことがございますのでご了承ください。どうぞ協力をお願いします。資料の確認は以上です。</p>
座長	<p>資料1に懇談会の委員の名簿がございます。新年度に入り懇談会の委員及び事務局職員の異動があったと聞いております。ここで新しい委員の方、事務局の職員の方のご紹介をお願いします。</p> <p>(新委員、事務局、設計会社自己紹介)</p>
座長	<p>それでは、会次第の3番に移ります。計画地の概要についてです。</p> <p>前回の懇談会において副座長から、校舎設計は敷地条件に強く影響を受けるために、基本的な敷地条件を整理したほうがよいとのご指摘をいただいております。それを受けてまず本日は計画地の概要について、資料がついていると思いますので事務局から説明をお願いします。</p>
営繕係長	<p>資料2をご覧ください。計画地の概要を説明します。</p> <p>今回の計画地ですが、3つの用途地域にまたがっております。このカラー刷りの図面の①は近隣商業地域になっています。建ぺい率80%、容積率300%、この部分で大体650平米あります。</p> <p>②の部分は第二種住居地域となっています。建ぺい率60%、容積率300%、敷地の面積は7,850平米です。</p> <p>③は図面の右端の小さな三角形の部分です。ここは近隣商業地域となっています。建ぺい率80%、容積率400%、面積は約400平米でございます。</p> <p>続いて道路について説明します。まず北東の部分の道路は幅員が6.36メートルの区道です。図面の右から左方向の一方通行になっています。</p> <p>続いて北西側の道路です。幅員が5.45メートルの区道も図面の右から左方向の一方通行になっています。</p> <p>続いて敷地の西の端です。ちょうど15.5メートルの幅で環状8号線に接しています。あとは南側に善福寺川があります。</p> <p>図面に5.45メートルの路地状の区道になっていますが、そこに先端の部分が接しているような敷地となっています。</p> <p>計画地の状況ですが、区内の学校はその多くが第一種低層住居専用地域に立地しています。今回の敷地はいま紹介したような用途地域に建っていますので、容積率や高さについては有利な条件となっています。</p> <p>しかし、計画地周辺には集合住宅が多く建っていますし、いま説明したように道路も狭い一方通行のために、建築計画及び工事においては周辺環境への影響を十分に考慮する必要があります。以上です。</p>
座長	<p>ありがとうございました。用途地域あるいは容積率など建築の専門用語も出てきておりましたが、桃井第二小学校の敷地がほかの多くの区立学校に比べて有利な条件にあることもわかったような気がします。</p> <p>第1回の懇談会では、委員の皆様から広い校庭をという強い希望を多くいただ</p>

	<p>いたと思います。それも含めて建築の専門家である副座長からコメントをいただきたいと思います。</p>
副座長	<p>今お話がありまして、周辺の用途地域は他の学校よりは少し良いわけですが、ただやはり日影規制があることは確かなので、周辺の市街地に日影を落とさないようにはしたい。できれば環状8号線のほうに影を落とすようにしたいことと、環状8号線の音を遮るという意味からすると、8号線沿いに高くしたいのですが、細長く北に行っているだけなのでどの程度になるかわかりませんが、一番有利なところで8号線沿いを使ったほうが良いと思います。</p> <p>ただ、周辺の市街地への影響もあります。道路幅も狭く、通学中も結構危ないと思いますので、区道沿いにはできれば通学路も兼ねた歩道状の空地が2メートル程度できて、安全に子どもたちが通学できるように。子どもたちは学校のそばへ来て少しおしゃべりとかいろいろなことをしますので、門の前は少し広場をとるとか、そういう配慮をして交通上も通学上も安全になるようにする必要があります。</p> <p>校庭のとり方としては、やはり南側にとりたくて、校舎も南の光を入れたいわけですが、そういった日影規制の点から学校の建物は横に長いものですから、日影規制にはとても不利です。タワー状のほうが影は、太陽の光が落ちたら速く動いてくれるんですね。横に長いと大きく面になって影をたくさんつくります。</p> <p>高さは皆さん嫌がりますが、できれば部分的にでも高くして後ろに日影が行かないような工夫で校庭を広くしていくことは必要だと思うので、階数だけで考えないほうが良いというのが1つのコメントです。</p> <p>もう一つ、やはり善福寺川の影響もありまして、時々水が出ることに對してどうするのかというのが大事な要件になると思います。1つはたくさん雨が降ったときに善福寺川に出さないようにすることで、一旦ためて、雨がやんだら学校から水を出すという雨水を調整するような、自分のほうも迷惑をかけないようにするという。かつ、その善福寺川があふれたときにどうするか。これまでは最大1メートルぐらい浸水するという感じですかね。</p> <p>そうすると、ほんの少しは校庭を上げたいところで、浸透するようなところをつくっておくとかそういう対処も要りますが、校舎の床は、1メートル以上は上げないとならないでしょうから、そういった配慮とかが要るので、水については自分も集中豪雨のときに一緒に出さないようにすると同時に、あふれてきたら少し濡れないようなぎりぎりの線で校舎の高さを考えておくことが重要だと思いました。</p> <p>本当は地下などをつくと校庭が広く使えるのですが、ここはたしか地下水の水位も高いので、地下室をつくとどんどん水が噴出してくるので、余り地下の工事ができない場合もあります。本当は地下をつくりたいところですが、工事費の関係もあって水位が浅いので不可能かもしれません。</p>
座長	<p>ありがとうございました。それでは、今の副座長のコメントについて何かご質問等ございますか。</p>

学校整備担当部長	今ちょうどお話がありましたが、参考資料にハザードマップをおつけしております。そちらも副座長から両方のご意見をいただきました。
座長	では先に、最後の副座長の話にもありましたので、ハザードマップの資料も出ているということで事務局からお願いします。
教育施設計画推進担当係長	<p>それでは、参考資料のカラー刷りのハザードマップをごらんください。これは平成12年9月の東海豪雨、平成17年9月の集中豪雨がそれぞれ区内全域に降った場合の洪水のシミュレーションです。</p> <p>黄色や緑が浸水範囲を示している部分です。こちらはそれぞれ12年、17年の豪雨の深いほう、広いほうを示しているものです。わかりにくいのですが、赤い線が引いてあるところがおおむね桃井第二小学校の校地を示しております。</p> <p>平成17年の集中豪雨では、時間でいうと最大112mmも雨が降ったそうですが、体育館の床上浸水のみ被害で収まったという話を聞いております。</p> <p>なお、資料の一番下にも記載してあるとおり、改築校においては必要な雨水流出抑制対策を設計に盛り込んでまいりますので、その辺は万全を期したいと考えております。</p> <p>もう一点は地盤について副座長からお話もあったと思いますし、また委員の皆様からもいろいろなお質問があったと思います。こちらについては夏休み中にボーリングを兼ねた調査を行いますので、その調査報告が出た時点でまた改めて内容について懇談会でご提示したいと思います。今回は間に合いませんでしたが、ハザードマップの参考資料の提出ということでよろしく願いいたします。</p>
座長	ありがとうございます。夏休み中にボーリング調査が行われるというお話がありました。その結果についてはまた懇談会でも後でご報告があるということでした。ちょうどこの資料にもありますが、平成17年9月4日の集中豪雨のときに、桃井第二小学校に教員としていらっしゃった委員が出席されていますので、当時の状況について何か具体的お話がありましたお願いします。
委員	<p>もう10年も前のことですのではっきりとは覚えていない部分もありますが、9月4日の夜に集中豪雨がありました。今と同じ体育館ですが、床まで水が来てしまったというのを覚えています。</p> <p>翌日、教員が来て体育館の床をみんなで水拭きしたことがありました。うちの体育館だけではなくて、やはり近隣の保護者、子どもの自宅では床上浸水があったというニュースがあったのも覚えています。それ以来は特に大きなことは起こっていません。</p>
座長	<p>ありがとうございました。たしか杉並区で、防災訓練を各学校を会場にして一斉に行われた晩のことでしたので私もよく覚えております。</p> <p>今のハザードマップに関連していろいろご説明あるいは様子等についての具体的なお話がありましたが、何かその辺でご質問等ございますか。</p>
副座長	このハザードマップの0.5メートルから1メートル未満に緑のところはなっているのですが、これはどこを基準に。現状地盤から0.5なのか、どこから0.5から1メートルなのか。地盤が結構川沿いなので敷地内の高さが違うじゃない

	<p>ですか。それをわかりやすくして。このときにどこまで水が出ましたというのが、電柱か何かに書いてあると。</p>
学校整備担当部長	<p>あの当時、区の土木担当が、洪水があった後に被害調査をやっております。多少水位で汚れたところがあるので、わかるところはきちんと出ていると思います。</p>
副座長	<p>地上のゼロはどこですかね。</p>
学校整備担当部長	<p>これは一番低いところだと思っています。ただ、低いのがどこだというのは、今日は私もわからないので、土木担当と打ち合わせして次回以降にきちんとお示しします。</p>
副座長	<p>そうですね。どの辺だという目安がちょっとわかりにくい。</p>
座長	<p>他にご質問等ございますか。</p> <p>それでは、会次第に従って進行します。4番の桃井第二小学校の改築についてです。今日は資料も出ております。前回から5カ月ぐらいの期間が開いての開催となりましたので、改めて改築に至る経緯や改築に当たって小学校内に整備する機能について、整備することで改築基本方針の議論も進むかと思えます。事務局からこの資料について説明をお願いします。</p>
学校整備課長	<p>学校整備課長からご説明します。</p> <p>第1回に他の学校の改築を例に挙げながら、改築の基本方針のような改築の考え方についてご説明しましたが、座長が言われたように随分間が開いてしまいましたので、ここで改めてもう一度改築についてご説明します。資料の3と参考資料「あんさんぶる荻窪」と「荻窪税務署等用地」の財産交換の2つを用いましてご説明します。</p> <p>この参考資料は、「あんさんぶる荻窪」内の施設に関する対応方針概要というのがございまして、これが桃井第二小学校の改築と深くかかわってきますので、改めてこの参考資料をお付けしました。</p> <p>まず財産交換の目的ですが、喫緊の課題である特別養護老人ホーム、区内全域の地域包括ケアのバックアップ機能を果たす施設の一体的な整備を図るためという大きな目的がございました。</p> <p>これまでの主な経過ですが、平成25年に区立施設再編整備計画（素案）を公表し、区議会への報告、区民アンケート、地域説明会、区民意見交換会を実施しました。</p> <p>平成26年に入り、1月にはその計画案を公表し、この案についてまたさらに区議会への報告、地域説明会、区民等の意見提出手続、いわゆるパブリックコメントを行いました。3月には区立施設再編整備計画を決定・公表しました。</p> <p>別に冊子をお持ちしたのは、広報「すぎなみ」の特別号に平成26年3月決定綱領をしたという内容についてここに記載したものです。</p> <p>そして、先ほど申し上げましたように、桃井第二小学校と密接に関連する内容はこの3番です。「あんさんぶる荻窪」内の施設に関する対応方針です。3つ目</p>

に荻窪北児童館の網かけの部分の学童クラブ・小学生の居場所を桃井第二小学校で展開していくことです。区立施設再編整備計画に掲げた児童の行き帰りの安全と健全育成の環境の充実を図るために小学校内への実施を基本とするという区の大きな基本方針がございます。したがって、桃井第二小学校内にその必要なスペースを確保・整備していくというものです。

1つ飛ばして、近隣の保育園等々の遊び場は、ご案内のように「あんさんぶる荻窪」をご利用いただいています。

その1つ下の地域の集会スペースも「あんさんぶる荻窪」の中で区民の皆様にご利用いただいている施設がございます。この2つをあわせて桃井第二小学校の中に整備していくという方針です。

資料3をごらんください。改めてこの改築に至る経過です。この桃井第二小学校は平成27年度に築50年を迎えます。教育委員会としては今後の改築時期等の検討を進めていました。「あんさんぶる荻窪」の財産交換に伴い、桃井第二小学校に移設する機能については、当初はこの既存校舎を改築ではなく改修して敷地内のスペースを有効活用して整備していこうという考えでございました。

そうした中で、平成26年7月に荻窪地区の町会長様から子どもたちの教育環境と放課後対策を含めた健全育成環境の向上を図るためには、桃井第二小学校を早期改築するべきだという要望書が区に提出されました。

これを受けて区としては教育委員会だけでなく、総合的に検討して桃井第二小学校の改築について、平成26年11月に改定した「杉並区実行計画（平成27～29年度）」に計画事業として盛り込んだものです。その桃井第二小学校の改築については、いま申し上げた「杉並区の総合計画・実行計画」という冊子の中に桃井第二小学校の改築を区として決定したものを記載しています。

2つ目は改築に当たって小学校内に整備する機能です。まず当然のことながら、ここに通う子どもたちの教育環境の充実を最優先とします。そういった学校をつくってまいります。以下に掲げた機能をあわせて整備してまいります。先ほどの参考資料の3とつながるところもでございます。

まず（1）学童クラブ・小学生の放課後等の居場所です。学童クラブを学校内に設置して、さらに学童クラブ利用者以外の児童も放課後に学校で過ごせるように放課後等居場所事業を実施します。放課後の子どもたちに必要な環境整備を行ってまいります。

学童にお子様に通っていらっしゃる保護者の方から、児童の行き帰りなどの安全面から小学校内に学童クラブを設置するという要望が多くございます。既に学校内に設置しているのが10校ございます。そちらからも非常に好評を得ておりますので、いま申し上げたような学童クラブの考え方を持ったものです。

学校によっては児童数が減少しているところがございます。その場合には、いわゆる空き教室が生じている学校も一部にはございます。その小学校の施設・スペースを活用します。これはこの学校ではなく一般的な話ですが、小学校の施設・スペースを活用して学童クラブの利用児童と、他の小学生との交流機会を確

	<p>保することができて、豊かな遊びを提供した一層の健全育成を図る。これが先ほど来申し上げている考え方の基になったものです。</p> <p>当区ではこういった実態を踏まえ、身近な小学校での実施を基本とすることしました。つまり、桃井第二小学校の改築に当たるといことです。</p> <p>学童クラブは区内に全部で50施設ございます。このうち10カ所が既に小学校の中に設置しています。参考に杉並和泉学園がこの4月に開校しました。杉並区初の小中一貫教育校で、小学校と中学校が一体となった学校ですが、ここには学童クラブを1つ設置し、さらに今グラウンドの工事をしておりますので、地域の学童クラブの需要数を考えてもう一つ、グラウンドの中に学童クラブを設置する工事をこれから行います。</p> <p>(2) 地域の集会スペースですが、地域住民の方が集会・交流スペースとして使用できる開放会議室を設置します。</p> <p>(3) 近隣の保育園児等の小規模な遊び場です。児童館の施設の一部を保育園児のお子様を利用していらっしゃる実態を踏まえて、改築の際にはこの敷地内にそういった園児の方々のために小規模な遊び場を整備していくという方針です。説明は以上です。</p>
座長	<p>ありがとうございました。資料3と参考資料をもとにしたがらのご説明が課長よりございました。何かご質問等ございますか。</p>
委員	<p>ここには学童クラブ利用者以外の児童も放課後に学校で過ごせるというようなスペースを考えていると書いてありますが、どれぐらいの規模を考えているのか。やはりこの地域は見て分かるように、本当に子どもが遊べる場所がすごく少なくて、それを踏まえて「あんさんぶる荻窪」を建てるときに、子どもたちの居場所となるように、公園のかわりにはならなくても広くて天井の高い体育館をつくることをすごく考えていただいてあの児童館ができました。そういうことも何か考えてくださっているのか、小学校はもともと体育館があるので、そこを共有するという形になるのか。</p> <p>それと近隣の保育園はこれからどんどん増えていくと思います。そういうときに公園が少ないところで、結構「あんさんぶる荻窪」は屋上、雨が降ったら室内という形で利用している人がかなりいました。</p> <p>私も乳幼児の「ゆうキッズサポート」をしていて、そういう人たちによく会ってますね。みんなすごく生き生きと元気に遊んでいますし、そういう場所がなくなってしまうというのはどの程度考えているのか。何かそういう場所をつくれればいいというのではなくて、やはり十分なスペースを考えてもらいたいと思います。</p> <p>子どもたちもやはり小学校にいて学童に行って、小学校と共有して使えるというような話も聞きますが、小学校のスペースを使うだけではなくて、児童館の中で十分に遊べる、くつろげるスペースがないとストレスもあると思います。たしか杉並区なのか国なのかかわからないけれども、1人の児童に対して何平米と学童保育のスペースが決められていると思いますが、ここにできる建物の中に入るも</p>

	<p>のがもうスペースが決まってしまうのか。この協議会（懇談会）の中で話し合っただけでそれが反映されていくのか、そういうところも伺いたと思います。</p>
学校整備担当部長	<p>荻窪北児童館は児童館機能を学校や保健所、センター・児童館に再編する再編整備計画が決まっています。今回問題になるのが、桃井第二小学校の改築にあわせて現状の荻窪北児童館の機能や子どもの環境をどのように満足するようにここに落とし込むかだと思っています。</p> <p>今ご質問があったとおり、学童クラブのスペースと、この子どもたちが放課後に残るとか、私学へ行っている子どもが遊びに来るとかいろいろなケースがありますから、子どもが居るスペース、保護者などがみんなを見守るようなスペースも必要です。</p> <p>もう一つは、荻窪北児童館に近所の保育園の園児が遊びに来ているのも事実ですから、その方が専用で立ち寄れるようなスペースもつくらなければいけないと思っています。大事なのは、今のあんさんぶる荻窪が移るのですが、そこにある荻窪北児童館の学童その他の機能については桃井第二小学校できちんと継承していく。</p> <p>ただ、そのときに将来の子どもたちの環境がよりよくなるような計画をしなければ何も意味がありませんから、規模とか位置とか、これからの子どもの数がどうなるのかという話は、この懇談会の中で、行政である程度資料をお示ししますので、その中で配置なり規模を懇談会の中で決めていただきたいと思います。</p> <p>現時点で具体的に面積がどうかという話はまだ役所としても全く用意できていません。ただはっきり言えるのは、学童クラブについてもほかの機能についても、ここの黒く塗った3つが桃井第二小学校に来ますが、機能としては縮小しません。それは現状か拡大して、子どもたちの環境を優先してこの計画を進めていくということで取り組んでいきます。</p>
委員	<p>その中でやはりあそこで重要なスペースが体育館になるんです。やはり中高生も夕方に遊びに来てバスケットとかをやって遊んでいるし、音楽室の利用度も結構高くて、中高生はお金がないからそこで無料で借りられるということで結構練習しています。それで児童館の中のホームイベントとかで披露するなどして使っているの、そういう部分もきちんと考えていけるのかどうか。</p> <p>まだ決まっていないと思いますが、ここで話し合っただけで必要だとなればそういうことも可能ですか。</p>
学校整備担当部長	<p>2つあります。まず、今の児童館の学童クラブの面積は決して広くありません。人数の割に部屋が狭くて大変窮屈な思いをしているのではないかと思います。そこは解消しなければいけません。</p> <p>それから、中学生とか高校生の居場所事業というのがありますが、児童館に小さいお子様が来ていると中高生はやはり遊べない。そういう部屋もない。今はほかの中高生がいる場所もつくらなければいけないものですから、桃井第二小学校の中に中高生を入れる場所をつくるのは面積的に非常にきついと思っています。</p>

	<p>ただ、別の場所で中高生がいられる、拡大してそういう子どもたちにもスペースをつくっていくという考え方は、別の施策できちんと組まなければいけないと思っています。</p>
座長	<p>保育園等の小さい子どもたちだけではなくて、中高生等の問題も含めてお話しがありました。他にありますか。</p>
学校整備担当部長	<p>中高生のセンターがあるので、それをどうするかは宿題になっていますので、再編整備の中で中高生の居場所づくりについては考えていきたいと思っています。</p>
座長	<p>では、関連してご質問、ご意見等ございますか。</p>
委員	<p>前回は私は言ったのですが、学校の施設全体を考えたときに、今の方がおっしゃったどのくらいの学童クラブができるか。この敷地、容積率とかそういうものを考えたときに、余り大きなものを期待してもらっては困ると言われました。ですけれども、今の話では大分変わってきているようですが、その変わった点はどのようにしてそのようになったのでしょうか。</p>
学校整備担当部長	<p>大きく変わったのではなくて、役所自体は学童クラブを拡充して、余り狭いものをつくっていく気持ちは全くありませんでした。ただ、荻窪北児童館もそうですが、他の児童館がもともとの育成室というか、学童専用の部屋が非常に狭い。その割に学童の登録がどんどん増えてきていますので、児童館のほかの部屋の図書室とかほかのスペースを学童の方が使っているのが正直なところです。</p> <p>先ほどありましたが、学童クラブの1人当たりの専有面積の最低基準は決まっていますから、それをきちんと守っていくことと、今の学童の専用の部屋よりも広くしなければいけないことは区も十分わかっていますから、その中で桃井第二小学校についても、学童クラブについては今の荻窪北児童館よりも面積は大きくなるだろうと思っています。</p>
委員	<p>学童保育のスペースは今も荻窪北児童館よりは少し広がるだろうということですが、体育館をつくるか、つくらないかというのはどうですか。</p>
学校整備担当部長	<p>体育館はこれから校長先生や学校とよく打ち合わせしなければいけないし、ここは一番のネックだと思っています。教育委員会が使えるスペースと学校の子どもたち、桃井第二小学校優先でつくるスペースはやはりどこか境界線があるはずで、学校をどこまでも子どもたちが勝手に使ってもいいだろうという話でもないので、これからそれは計画の中で学童の子どもたちなり、放課後みんな子どもが残っている中で、区の責任で学校の施設をどこまで使わせていただけるかというのは、これから打ち合わせていかなければいけないと思っています。</p> <p>ご質問があったように、荻窪北児童館に天井の高い遊戯室があります。それ自体は児童館の施設なので、桃井第二小学校の学校の中にはつくれません。ただ、体育館とか音楽室、図書室、校庭は使えるわけです。そこをどう共有して使っていくのか、ハード・ソフトを含めて放課後に子どもたちがどう使っていくのが、両方で検討しないといけないという課題です。</p>

座長	<p>学童クラブや放課後の居場所づくりの問題等も含めて、まだ今後検討していく課題だということですね。他にご質問等ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>今の学童クラブの件ですが、この校舎が建ち上がる前に仮設校舎に移ることに關しては、前回に田中区長からお話を聞いたときは、何か代替のところを考えているということでした。それについてはまだどのようにになっているか決まっていないのでしょうか。</p>
学校整備担当部長	<p>地元の方が小学校の仮設の中に学童を入れるのかとか、学童も窮屈だし、この桃井第二小学校の仮設の子どもたちにとっても狭くなる。どうなのかというお話を十分役所も受け取っています。</p> <p>今日の時点で細かなことはまだお話しできないのですが、それはもう区長が受けていますので、役所一同、いま頑張ってどうするかを練っています。どうするのか、どういう土地が確保できるのかはなるべく早く皆さんにお伝えしなければいけないし、この桃井第二小学校の改築懇談会の中でも、仮設計画の話はさっき副座長がおっしゃったとおり、どこに校舎を建てるか、どこに校庭をつくるかということに大きな関係があります。したがって、児童館の仮設の話、桃井第二小学校の仮設の話については早めにきちんと方向性を決めなければいけない。</p> <p>ただ申しわけないのですが、今日の時点はまだ細かなことは申し上げる段階ではないのでお許しいただきたいと思います。</p>
座長	<p>工事期間のこと、仮設計画等については、今後懇談会でもまた具体的に話が出てくるということですね。</p>
学校整備課長	<p>新しい校舎の設計をするのと同時に、仮設工事はどうしていくかはここで議論させていただきます。</p>
座長	<p>そういうことでよろしいでしょうか。</p> <p>では、会議次第の5番の改築基本方針のたたき台について、本日のメインテーマになると思います。まず資料4を事務局からご説明をお願いします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>それでは、表になっている資料4の改築基本方針（たたき台）をごらんください。こちらを説明させていただきます。</p> <p>右半分の表はこれまでの主な意見で、第1回の懇談会の学校の特色のプレゼンテーションを含めて皆様方から出されたさまざまなご意見の中から、学校改築に関する主なものを取り上げています。</p> <p>意見の末尾に「(A)」とか「(A・B)」とか「(C)」といった記号が振られているのは、「(たたき台)」と書いてある左側の表のAからIまでに対応しているものになっています。たたき台のAからIの各項目は、皆様のご意見の趣旨を基本方針的にまとめたものです。</p> <p>例えば、右の評価項目は主な意見の一番上の「○」は、「学力の向上に努め、講師を入れて少人数クラス展開を行うなど、きめ細かい指導を行えることが重要だ(A)」は、左のたたき台の表にいきますと「A一斉指導、チームティーチング(TT)、個別・少人数指導、グローバル学習など多様な学習形態に対応できる施設とする」というような形でつながっていくというような、意見と基本方針</p>

	<p>に相互に対応するような形で構成しております。</p> <p>左側の表のたたき台AからこのIまでの各項目は、さらに大きく分けて、1の多様な学びの場を備え、質の高い学習環境を備えた学校をつくる、2の安全・安心で快適な生活空間としての学校をつくる、3の地域に開かれ、地域とともに子どもたちの健やかな成長を育む学校をつくるというような柱立てに整理しております。</p> <p>今回はこの3つの大きな柱立てについて、また各項目の細目であるAからIまでの項目立てについて、ご意見やご確認をしていただければと思って、まとめた資料をご提示しました。</p> <p>同時に、これはあくまで1回目を中心にしておりますので、盛り込まれていないさまざまな視点がまだまだあるかと思えます。それについては数多くご議論、ご意見をいただいて、これを今回さらにブラッシュアップして、次回には基本方針の案という形に引き上げる会に、今日はできればと思って、資料としてまとめご提示しました。簡単ですが資料の説明とさせていただきます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。本日はあくまでもたたき台ということで、事務局でまとめてくださっています。今日ここで結論を出すということではなく、また次回以降に改めて事務局から基本方針のご提案があるということです。</p> <p>この資料を見ますと大きく3つの柱で内容が整理されています。そこでこの後の議論の進め方ですが、一応この3つの柱で1つずつ時間をとり、確認しながら委員の皆様から自由闊達なご意見等、お互いに交わし合えればよろしいかと思えますのでどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>では早速、1つ目の柱の多様な学びの場を備え、質の高い学習環境を備えた学校をつくるに関連して、委員の皆様のご意見をいただけたらと思います。よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>Cのプールの屋上設置の件ですが、室内運動場の重層化がありますが、やはり善福寺川に近いものですから、どうしても地盤のことがとても心配です。また、救援所などにも使いますし、耐震構造については十分注意していただきたいと思えます。</p>
座長	<p>屋上プール、屋内運動場、体育館という構造の中で、いわば震災に備えて耐震の問題も含めて、また震災救援所で使うことも含めて等々のご意見でした。ありがとうございます。関連して、また別件でも構いません。ご意見がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>学校支援本部です。学校支援本部の会議でこの間代表者が集まりまして、そこで出た意見です。学校支援本部は図書の読み聞かせ等にかなり地域の方に来ていただいて協力を得ています。恐らくBになるのですが、特別教室がどのくらいのものできるかわかりませんが、図書室の充実をぜひともよろしくお願いいたします。</p>
座長	<p>ありがとうございます。今、学校支援本部の関係で、特に図書室の環境充実での熱いご意見をいただきました。他にいかがでしょうか。</p>

委員	<p>桃井第二小学校側の会議で出たもう一つのご意見でおやじの会から、できれば屋上に天体観測ができるようなスペースが欲しいというような話がありました。それに関連して屋上も充実していただければ、校庭で遊べない部分も補えると思います。</p> <p>あと私としては、特別支援学級の子たちに配慮をいただけたらと思います。それは仮設を建てる時も、やはり普通のお子さんよりも環境の変化には敏感なので、配慮をしていただきたいと思います。</p>
座長	<p>委員から2点ご意見をいただきました。屋上の利用という視点ですね。それからもう一つは、桃井第二小学校の特徴でもある特別支援学級に対する配慮をお願いしたいということでした。他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>同じことになってしまうのですが、やはり子どもの居場所をつくる、遊べる場所をつくることはとても大切なことなので、そういう視点をもう少し入れてもらいたいと思います。</p> <p>雨が降ったときには体育館、晴れているときは運動場、両方使えるような工夫を必ず考えてもらいたい。それが難しいのであれば、小さくてもいいので必ず遊戯室のような部屋をつくってもらって対応できるようにとか、本当にしてもらえたらうれしいと思います。</p> <p>やはり学校もいろいろなことがあるので、いつでも校庭や体育館を使っていいかはとても不安材料で、そのあたりは学校側にもしわ寄せがいかないように、学校側もきちんと利用したいときは利用できるようなにならないといけないと思います。何回も言うようですが、この近隣は本当に子どもたちの居場所がなくて、今まで「あんさんぶる荻窪」では本当にいい場所になっています。そこだけではなくてフリースペースで中学生、高校生が勉強したり、いろいろな大人にかかわってもらったり、そういう場所がなくなってしまうということです。</p> <p>今回はそういうものを全部盛り込むのは難しいかとは思いますが、なるべく近隣の子どもたちに対することですので、本当に充分みんなで考えていい施設をつくっていかないと、「あんさんぶる荻窪」がなくなってしまうと、「あーあ」とみんなで落胆するようなことになっては困ります。</p> <p>もう一度確認したいのですが、児童館がそのまま来るわけではないので、図書室とか乳幼児室スペースはつくらないということですか。</p>
学校整備担当部長	<p>この中の平面計画や部屋割りが議論できていないので、この場で具体的に言えないのですが、ただ、今の再編の中で児童館機能を分けていくという中では、やはり桃井第二小学校の中の学童クラブの部屋は、ほかの学童クラブと同じ部屋しか設置できないと思っています。</p> <p>ただ、不足する面積がないようにその部屋自体は、収容する子どもに応じてちゃんと面積を確保するのは基本だと思っています。プラス校庭とか体育館も使えるようにして、子どもたちがもっと広々としたところを使えるということだと思います。</p> <p>今の委員のご意見はごもっともです。改築を全面改築に至った町会長さんから</p>

	<p>の要望というのはそこだったと役所も思って全面改築にしたわけです。既存の学校で荻窪北児童館の機能を移しても、何か中途半端で子どもたちに不自由をかけそう。それだったら全面改築して、面積なり平面を工夫してよりよいものをつくって、全面改築のほうがいいのではないかとこの地元の要望もありましたので、教育委員会としては全面改築にしたわけです。</p> <p>全面改築する以上、今の意見をきちんとできるような形で、できないところ、できるところ、これから振り分けしなければいけないと思っています。全部できるとは今は言えませんが、そういう視点できちんとやっていきたいと思っています。</p>
座長	<p>今の点については、今後の懇談会の中でも具体的な案が出てくるということですね。特に平面図として基本設計でどうこうという部分がこの場でも提案されるということですね。よろしいですか。他にお願いします。</p>
委員	<p>具体的な部分がわからないので、空想の中でのこういうものにしてほしい、こういうのをやってほしいと、非常に皆さんからの要望が出ていると思います。</p> <p>子どもたちにとって一番いいのは、伸び伸び遊べてという部分だと思うので、それを考慮していただくことが今後の図面の中で活かされて、私たちが見たときに、これなら前よりよくなるねというような具体的にわかるようになればいいと思うので、ぜひ考えていただきたいと思っています。</p>
委員	<p>私は「あんさんぶる荻窪」の児童館をそのまま残してもらいたいという考え方ですが、それは多分交換が実現してしまうだろうと思います。それだけの規模のものを桃井第二小学校に持ってくるのは不可能だというお話も伺っていますので、高層にして1階部分を全部あんさんぶる荻窪のかわりに使うことはできないのでしょうか。</p>
学校整備担当部長	<p>児童館をどう再編するかというのは荻窪北児童館だけではなくて、杉並区全体の児童館のあり方で決めたことです。ここに荻窪北児童館がスペース的に入るから、全部移してしまえばいいだろうということは役所としてできません。</p> <p>できるのがこの網かけしたところで、再編整備計画で決まったわけですから、この部分だけはきちんと入れましょうということです。ただ、入れる際には不自由な広さとか職員配置をして、今までの児童館機能は継承するか拡大して、子どもたちにとっていい学校づくり、場所づくり、学童のスペースづくりを目指すということです。</p> <p>今おっしゃったように、「あんさんぶる荻窪」の交換が急な話だったので、荻窪北児童館はそのまま残してくれという話と、荻窪のこの桃井第二小学校を改築する話は切り離して考えていただきたいというのが教育委員会の考えです。</p>
委員	<p>地元としては、それはなかなか切り離せないんですね。今まであれだけの児童館で子どもたちが遊べる場所があったのが、小さなものになってしまうことを考えたときに、地元の方々、お母さん方としては、極端に言うと、それを今度は狭いところに押し込められる状態ですね。</p> <p>高井戸第二小学校を見せていただきました。あの広さでは子どもたちが伸び伸</p>

	<p>び遊べる状況ではないですね。ですから、一律、区で決めたことだからこの広さでというやり方は間違っていると思います。全体で考えていただかなければ。</p>
学校整備担当部長	<p>誤解なさっているのが、荻窪北児童館と全く同じスペースを桃井第二小学校につくって、子どもたちを狭いところに入れるという考えは、この懇談会にはないと思ってください。それは言葉の綾で、何か窮屈なところにただ入れればいだろうという言葉は、私はこの懇談会の中としては寂しいような気がします。それが無いようにどうしていくのかがこの懇談会で議論していく話だと思っています。</p>
委員	<p>それはどうしてそうなったかというところ考えていかないと本当はまずいんですよ。どうしてそうってしまったか。</p>
学校整備課長	<p>高井戸第二小学校のことについて今お話がありましたが、学童クラブの定員数は60人で、学童クラブのスペースで展開している事業は学童クラブだけです。あそこに押し込められた子どもたちがかわいそうとおっしゃられたのですが、学童クラブの育成室は一人あたりの必要面積を計算して、定員分きちんと収まるようにスペースを確保しています。</p> <p>今度ここでやろうとしていることは、新しい建物をつくるので、現在は荻北児童館で学童クラブを運営していますから、学童の需要がどんどん上がっています。それを1人何平米というのを掛けて、定員については児童青少年課が今度ここで展開する学童を決めますけれども、それに合わせたスペースで学童の育成室を必ず確保します。それは児童青少年課とももちろんそこで、例えば何平米ですとそれだけ出してもどこにそれがあるのか、どこにそれを設置するというのが今は出せない状態ですのでつらいところではありますが、考え方としてはそう思っていたきたいところです。</p>
座長	<p>今、学童クラブに関する基本的な考え方をお話しいただけたと思います。この1の柱で何よりも子どもたちの学習空間としての学校をどうつくるかが一番中心かと思しますので、その辺で委員からこんな学校というのを具体的に何かありましたお願いします。</p>
委員	<p>よろしくお願いします。1のところに書いてありますように、やはり質の高い学習環境を整えるという部分で、いろいろな学校を見てきましたし、私もいろいろ経験してきていますが、オープンがいいのか、今の現状がいいのかは、子どもの実態を見て設計の方とこれから考えていこうと思います。</p> <p>それよりも個別の指導も行っているところなので、高井戸第二小学校にあったような学習室的なものは確実に欲しいと思います。また、いろいろなタブレットも導入させていただいているところで、現存しているパソコン室のようなスペースは基本的には要らない状況になって、別な形の多目的に使えるフリーのスペースがあるととてもいいと思っています。</p> <p>高井戸第二小学校でも見せていただきましたが、図書室に調べ学習的なスペースもつくっていたので、もちろん天沼小学校のように教室が足りなくなったから図書室を削るというようなことがない見通しを持っていただきたいと思います。</p>

	<p>そして、調べ学習とかも主体的な学びの中にあるので、そういうところも備えた環境も整えていただきたいと思います。</p> <p>学校側の要望をたくさん言えば言うほど、基本的にやはりランチルームも「生きる」ということからいけば食べることも大事で、こういう場所も本当は欲しいのですが、いろいろ言ってるときっとどこにそれができるのかみたいなことにもなりかねません。今はここが会議室であり、ランチルームであり、職員会議もここでやり、地域の何かや学校支援の集まりもあるということなので、もちろんそういう地域との会議ができる場所も必要になってくると思います。私のほうでも、校内でも意見を吸い上げて、もう少し具体的になってきたらいろいろ、こんな形が一応ベターかなというのは出したいと思っていますが、今のところはそのように考えております。</p>
座長	<p>ありがとうございました。お願いします。</p>
委員	<p>私もいろいろな小学校に行ってみて、環境学習を行うときに、やはり教室だけではない、2クラス、3クラスが入れるような部屋とか、こういうランチルームとか、多様に使える部屋は必ず必要だと思います。桃二小は生徒数が多いのと建物が古いからそういう場所が無いけれども、無いなりに工夫して授業はしていただいていると思いますが、やはりそういう部屋があるといいと思います。</p> <p>最近は多様な子どもがふえているので、クールダウン室というのがつくられています。でも、あの部屋の規模でいいのか。これから建てるということなので、ぜひとて言われても一応意見を出しておこうと思いますが、もう少し広めのクールダウン室が必要ではないかと思います。そのクールダウン室がなぜか物を置くスペースに使われてしまったりするのは、やはり収納スペースが少ないから物を置くようになってしまうのではないかと思います。</p> <p>先生方はプロなので、十分その辺も考えていただいて、そういうこともやっていただければいいとすごく思います。クールダウン室は本当に必要だと思います。それが有効に使えるためには、収納スペースをつくらないと、あそこが収納部屋になってしまうこともあるというのが、今回すごく感じたので、ぜひその辺は考えていただきたいと思います。</p>
座長	<p>収納スペースの視点もございました。ありがとうございます。</p> <p>個別の学習室あるいは多目的室等も含めて、まさに子どもたちにとってよりよい学習環境をつくり上げるという点で、桃井第二小学校の先生方のご意見をまたいろいろ集めながら、設計事務所と相談しながら、いい基本設計案が出てくるまで議論がこれからできると思っています。よろしくお願いします。</p> <p>1の柱で時間を大分とってしまいました。1の柱はよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、2の柱の安全・安心で快適な生活空間としての学校をつくるということについて、ご意見がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>学童クラブに児童館的要素が入ってくるのと学校教育との接点が、やはり学童クラブ的なものは割と自由な感じがあるし、また学校教育は目的に沿った教育が行われておりますので、その辺の接点がうまくいかないとやはり危険性を伴う場</p>

	合もあるかと心配しております。
座長	今Fに関するご意見をいただきました。ありがとうございます。学童クラブや放課後、居場所等の問題でやはり学校とうまく調整を図っていかないと大変だろうというご意見だったと思います。これから実際に設計段階のこともありますし、運用についていろいろ出てくるかと思えます。
学校整備担当部長	それは区側がどのくらいスペースと職員をきちんとそこに充てられるかだと思います。学校現場に迷惑をかけてはいけませんね。 やはり品川区とか渋谷区で先例的にやっていますので、そこはもう2～3年前から私たちは見学に行っていますから、実際のノウハウ、いいところ、悪いところをちゃんと検証した上で、どうするのかをソフト・ハードを含めて考えていかなければいけない。 ただ、いま言えるのは学校の先生方に負担を強いることでは、学校側になかなかご理解いただけないわけですから、そこをどうするかが一番の課題だと思っています。
座長	ハードの面、ソフトの面でのお話をいただきました。ありがとうございます。他にお願いします。
委員	学校支援本部から意見が出たんですが、安全・安心にのところです。表現は悪いのですが、すごくおしゃれな感じの設計ではなくて、普通に使える教室でいいのではないかと。すてきなバルコニーがあっても出にくいとか、すてきな螺旋階段みたいなものは要らないのではないかとという意見が出ました。それは皆さんと一緒に考えていきたいと思いますが、安全という意味では普通の校舎がいいのではないかとという意見が出ました。
座長	おしゃれよりも安全をとということで、これは設計事務所といろいろ検討していく中で出てくることかと思えます。他にいかがでしょうか。お願いします。
委員	個々の意見は余りないのですが、今回の改築に当たりまして耐震というのは大体定義として震度6以下ぐらいの地震が来た場合、1～2階で大きな揺れがあるときに、安心・安全な場所に避難してくださいという定義と承知しています。せっかくつくり替えるのですからいろいろな要望はありますが、これから自然災害に備えた相当しっかりした建物が、どのような形でしっかりするかを取り入れながら、今、委員もおっしゃったのですが、私なんか個人的にはつくりは質実剛健なつくり方がよろしいのではないかと、余りおしゃれなものばかりを備えてもどうなのかなと思います。そんなところも取り入れていただけたらと思います。
座長	ありがとうございます。
委員	大切なことだ。
座長	耐震の関係については区でも基本線があるかと思えます。
学校整備担当部長	学校を設計する際もそうですが、普通の民間に比べて役所の耐震構造は割増をきちんとします。普通の民間でも震度6は大丈夫なので、それより1.2倍とか1.5倍と重要度係数で割増をしていきますので、通常の耐震は全く問題ない設

	計をしていますし、最近の全面改築も割増をきちんとやっていますので、耐震的には問題ないものにします。
副座長	<p>皆さんからいろいろなことが出ていますが、学校と学童クラブとはいろいろな人が入ってくるというときに、入口をどうつくるかがすごくポイントになると思います。学校の入口はどの辺が一番いいのかとか、学童クラブの入口はどの辺がいいかというのを皆さんの生活感で持っていらしたら、それを言っておいたほうが。</p> <p>設計者は外から来る人だからわからないので、むしろ出入り口はどの辺がすごくいいというのは、皆さんの声を言っておいたほうがいいと思います。その入口の仕分け方とつくり方で随分先生方の負担が変わります。</p>
座長	大事な子どもたちの動線の問題が出ていると思います。
委員	校舎の配置ということ。
副座長	いえいえ、どの辺が入口としてふさわしい場所か。今の場所がいいのかとか、意見があれば。
座長	その辺は学校側のイメージとかありますか。
委員	<p>そうですね。玄関はやはり校舎あつてのイメージではあるのですが、現在うちは地域の広がりもある関係で、こちらは東門と呼んでいる門と西門とあります。私としてはやはり児童の管理上はすごく不安を持っています。実際に私は子供を全部把握しているのですが、やはりこっちとこっちで一斉に朝こういう感じで来るんですよ。動線がいつもクロスしている状況があります。</p> <p>先ほどエントランスのところは、交通の面も配慮して少し広めにとりょうなお話もお聞きしたので、できたら1つにして、歌碑も校庭にあるのですが、私はやはりそういう意味では地域の方に開きたいので、エントランスにどんと置く。うちの象徴的な歌碑と白旗桜とありますが、そういうもので本校の印象的な学校の顔というものができればうれしいと思っています。そうすると、入口を分ける形で学童クラブなのかと考えます。</p>
座長	エントランスのお話ありがとうございました。1カ所からという。
副座長	安全な1カ所。
座長	安全なということで、そこにはまさに学校の顔としてというか、与謝野晶子さんの歌碑。
副座長	多少子どもは歩いてもいいですね。
座長	<p>白旗桜があり、安全な通学路というか、歩く場所もありスペースもあり、そこから子どもたちが出入りできるというのが基本でというお話だったと思います。</p> <p>そしてまた、設計段階で出てくるとは思いますが、そこは違ったところに学童クラブ等の出入り口を確保するというイメージだったと思います。他にご意見はいかがでしょうか。</p>
委員	今、区が建て替えるということで進んでいます。まず桃井二小学校がどのくらいの校舎、その他が建てられるか、どういう形になるかは坪数的に出していた

	<p>だいて、その中で小学校側がどの程度あったらいいか、その残りがどのくらいあるか。そういうことを概略でも出していただいて、それに当てはめていくような中で、どの程度のものがお互いにできるか。そういうことをやっていかないと、ただ広い所をください、大きくしてください、それは無理ですというだけではなく進まないと思います。ですから、細かいことはこれから徐々に進んでいくと思いますが、大まかなことをまず出していただいたほうが良いと思います。</p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ご意見が続いたのですが、PTAからまだ全然ご意見を伺っていないので、よろしくをお願いします。</p>
委員	<p>桃友会では3月に保護者向けにアンケートをとったのですが、多くの保護者は、新校舎はどんなすばらしいものができるのだろうともちろん期待はあるのですが、実際に新しい校舎に入れるのは今の1～2年生の保護者のみになります。それでほとんどの生徒の保護者は、ずっと工事中ということで、その仮設校舎での不安というか、学校の生活の不安がほとんどの意見です。なので、そういった意見というのは、今ここで言わせていただいていた方がいいものなのではないでしょうか。</p>
座長	<p>自由にご意見をということなので、ぜひお願いします。</p>
委員	<p>3月に改築に関するアンケートを実施して、多くの保護者から回答をいただきました。改築における関心の高さがすごくあることが伺えました。その結果についてはもう既に教育委員会に提出させていただいておりますが、意見の多かったものをご紹介します。よろしいですか。</p> <p>先ほども申し上げましたが、新しい校舎に皆さん期待をしていますが、それと同時に長い期間にわたる工事によって、学校生活への不安を大部分の保護者が抱えております。最も関心の高かったのが校庭のかわりとなる場所が確保できるのかということです。体育の授業はもちろん、朝庭、休み時間、放課後遊び、校庭開放、また運動会や夏祭りなどさまざまな行事が長期間にわたってできなくなることに對して、子どもの健やかな成長への不安またストレス、いじめなどにもつながっていくのではないかと心配の声が多く上がっています。</p> <p>特に桃井二小学校の周りには野球やサッカーなどのボール遊びをする公園がほとんどありませんので、そういった意味でも校庭が使えなくなることへの懸念が多くあると思います。</p> <p>また、工事中の安全面において、狭い敷地に仮校舎を建てることになると、騒音や振動による精神的影響や子どもの安全確保も懸念されています。仮校舎内に広い運動スペースをつくらせてほしいというご意見もありました。</p> <p>また、子どもたちにも「夢の学校」と題するアンケートをとったのですが、その中から幾つかご紹介します。広い校庭が欲しい。遊具をたくさん置いてほしい。図書室をもっと広くしてほしい。1年中泳げる温水プールが欲しいといったような子どもらしい意見もたくさん出ました。みんなが大切に思う学校にしてほしいと書いた子どももおりました。</p> <p>桃友会としては、今後も保護者やこういった子どもたちの声を吸い上げて、お</p>

	<p>伝えなければと思っておりますので、この懇談会を通して関係者の皆様に配慮をいただければと考えております。以上です。どうぞよろしく申し上げます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。</p>
委員	<p>今、委員がおっしゃった仮校舎についての心配は、五丁目町会も同じように考えています。ですから、本当に万全を期していい学校を建ててもらいたい。</p>
委員	<p>それはそうだな。</p>
座長	<p>今、続けて仮設期間のことについてお話がありました。部長、何かありますか。</p>
学校整備担当 部長	<p>先ほどのどんな規模でどのように建つのか、イメージでもいいから教えてほしいということと今の仮設の問題があります。</p> <p>スケジュールが巻末についていると思いますが、今度7月に入りますと改築の基本方針案については引き続いて検討してまいります。この中で配置計画案が出てくると思います。どの辺に校舎を設置できるのかと設計事務所と何案かお示ししていきます。</p> <p>その中には仮設校舎がどこに建つのかということ、既存の体育館を使いながら仮設を使えるのか。体育館を壊さないと仮設が建たないのかとか、将来の運動場をどうすれば日の当たる運動場にして広くなるのかということやいろいろなことを検討していった配置が決まってきます。</p> <p>どの辺に校舎が建つのかというのはそのバランスを全部比較した上で、一番いい案をこれから検討していきますので、この比較検討案というのを7月、8月にかけてずっとやってまいります。次に平面計画が8月、9月に入ってくるかと思いますが、大体仮設と本校舎をこの辺につくろう、このくらいの規模でいいのではないかという話がだんだん固まってきたら、その中身はどんな部屋がどこに設置できるのかを今度決めていきます。</p> <p>そのときに先ほどありましたとおり、学校の先生方のヒアリングをその時点できちんとやっていった、学校で子どもと接してどう教えていくのか、どういうスペースがいいのかということを含めて、平面計画の中で検討していくという段取りです。</p> <p>先ほどの仮設の校庭の確保が一番問題だという話ですが、それについてもいま区が頭をすごく悩ませているところです。先ほど言いましたとおり、体育館を使いながら仮設ができる話と、体育館を壊すのでは非常に大きな差があります。そこが1つ大きなネックです。</p> <p>そうはいつでも敷地の中に小さな遊び場ができるかと思いますが、それだけでは狭いものですから、敷地外にどこか遊び場ができるかどうかをあたっている最中です。まだ結論が出ていませんが、小さな敷地を幾つか寄せ集めるのか、例えば他の学校をお借りしてコマ数で、授業でお借りするとか、その辺は幅広く詰めていかなければいけない。</p> <p>校庭の確保は本当にこの地域の実情がありますので悩ましい問題ですが頑張っていきたいと思っています。それも7月か8月ぐらいには何とか概論を説明で</p>

	きるようになるのではないかと思います。
学校整備課長	先ほどご意見いただいた学童クラブのスペースとかそういったものを、本当に案の前の素案ですが、そのときにあわせて学童クラブがこのぐらいの平米数、放課後の居場所事業は大体このぐらいのところを使ってこうなるだろうというのもお示しできるように、児童青少年課と詰めてまいりたいと思います。
委員	これだけたくさんの方が子どもたちのためにご意見を出し合って、よりよい学校をつくっていかうというこの会に今日参加させていただいて、一保護者としてとてもうれしく思いながら聞いておりました。ありがとうございます。 どのように保護者の声をこの場で伝えて反映していくかということで話し合っていますが、やはり新しい校舎への期待とともに、今の生徒の遊びの場とか安全の確保とか、そういうところにやはり一番関心がいま集まっておりますので、その辺の声を十分に吸い上げて、安心して子どもたちが生活できる環境を一緒に考えていけたらいいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。
座長	ありがとうございます。予定の時刻を過ぎてしまいました。申しわけありませんでした。 事務局から今後の予定等も含めて何かございますか。
教育施設計画推進担当係長	それでは、資料5の今後の開催予定ということで、先ほどの説明の中でも既にお話もあったと思いますが、このような開催になっております。設計会社が綜企画設計に決まったということと、また延期になったようなこともございまして、スケジュールを組み直してございます。来月から7月以降、7月から11月と連続ですが、こちらはより基本設計にいろいろな懇談会で出た内容をより反映させていくためには、少し時間を詰めてやっていくことも必要ですので、どうかご理解いただければと思います。 今回は今回のご意見をもとに、改築基本方針案としてブラッシュアップして、話をもっと詰めていければと思います。また敷地概要の検討も踏まえて配置計画も出していければと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。簡単ですが、資料5の説明を終わります。
学校整備担当部長	議論白熱で、私もしゃべり過ぎてしまいましたが、今後とも皆さんに意見をいただきながら、いい設計を進めてまいりたいと思います。よろしく願いいたします。本日はどうもありがとうございました。
座長	ありがとうございました。